

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 いすゞ自動車株式会社

上場取引所 東

コード番号 7202 URL <http://www.isuzu.co.jp/investor/index.html>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 細井 行

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部総務グループリーダー (氏名) 甲山 博敏

TEL 03-5471-1141

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	727,886	△39.3	△5,667	—	△7,663	—	△16,550	—
21年3月期第3四半期	1,200,107	—	37,567	—	36,357	—	18,361	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△9.77	—
21年3月期第3四半期	10.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,073,736	319,970	24.8	157.24
21年3月期	1,026,786	331,773	27.3	165.61

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 266,436百万円 21年3月期 280,636百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では、平成22年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,060,000	△25.6	△5,000	—	△7,000	—	△5,000	—	△2.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 1,696,845,339株 21年3月期 1,696,845,339株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,334,277株 21年3月期 2,234,999株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 1,694,543,074株 21年3月期第3四半期 1,694,987,184株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月9日に公表いたしました連結業績予想を、本資料において修正しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

3. 平成22年3月期の期末配当は、現時点で判断する業績予想を鑑み、未定とさせていただきます。予想額の開示は可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直し傾向がみられますものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。世界経済は雇用が悪化するなど引き続き深刻な状況にありますが、景気刺激策の効果もあってアジアを中心に緩やかに持ち直してまいりました。先行きにつきましては、景気は緩やかな回復が続けることが期待されますが、信用収縮やさらなる雇用情勢の悪化等により、景気が低迷を続けるリスクが懸念されます。

このような状況の中で当社グループは、コスト体質の改善につとめ、業績の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の国内車両販売台数につきましては、シェアを大きく伸ばしたものの、全需の落ち込みによる厳しい状況は変わらず、前年同期に比べ15,491台（34.8%）減少の29,066台となりました。海外車両販売台数につきましては、在庫調整が終了し、中国、アセアンを中心に市場は回復基調にあるものの、前年同期に比べ137,481台（45.5%）減少の164,533台となりました。

この結果、国内と海外を合わせた総販売台数は前年同期に比べ152,972台（44.1%）減少し、193,599台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、海外生産用部品は、回復基調にあるものの、南米およびアフリカ地域への輸出が減少し、前年同期に比べ326億円（51.0%）減少の313億円となりました。また、エンジン・コンポーネントでは、国内、海外ともに、年度前半の販売減少が大きく響き、前年同期に比べ762億円（47.6%）減少の840億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、7,278億円と前年同期に比べ4,722億円（39.3%）減少いたしました。内訳は、国内が2,970億円（前年同期比29.9%減）、海外が4,307億円（前年同期比44.5%減）であります。

損益につきましては、売上は減少したものの、徹底したコスト削減により、営業損失は56億円（前年同期は375億円の利益）、経常損失は76億円（前年同期は363億円の利益）となりました。

また、四半期純損失は法人税等を47億円計上したこともあり、165億円（前年同期は183億円の利益）となりました。

[所在地別セグメントの業績]

① 日本

国内および輸出車両売上がともに減少し、売上高は5,293億円（前年同期比39.0%減）となりました。また、営業損失は200億円（前年同期は144億円の利益）となりました。

② 北米

北米地域の市場の回復が遅れており、売上高は414億円（前年同期比42.1%減）となりました。また、営業利益は15億円（前年同期比40.5%減）となりました。

③ アジア

円高による為替影響に加え、タイ生産のピックアップトラックの販売台数が年度前半に大きく減少したことが響き、市場は回復基調にあるものの、売上高は2,119億円（前年同期比38.8%減）となりました。また、営業利益は115億円（前年同期比39.2%減）となりました。

④ その他の地域

円高による為替影響に加え、豪州およびアフリカ地域における販売台数が年度前半に大きく減少したことが響き、市場は回復基調にあるものの、売上高は353億円（前年同期比42.6%減）となりました。また、営業利益は1億円（前年同期比92.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて469億円増加の1兆737億円となりました。設備投資を抑制した結果、有形固定資産が127億円減少した一方で、新規借入の実行により現金及び預金が418億円増加した他、受取手形及び売掛金が210億円増加したことが主な要因となっております。

純資産は、前連結会計年度末と比べ118億円減少し、3,199億円となりました。米ドルでは円高に推移したものの、豪ドル、インドネシアルピアで円安に推移したことにより、為替換算調整勘定が13億円増加した他、タイを中心に連結子会社での損益が回復したことにより、少数株主持分が23億円増加した一方で、四半期純損失の計上により純資産が165億円減少したことが主な要因となっております。

自己資本比率は24.8%（前年度末27.3%）となりました。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて269億円増加し、3,528億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内市場は引き続き厳しい環境下にあるものの、海外のトラック市場およびピックアップトラック市場で想定より回復が進んでおります。また、ローコストオペレーションが定着したことなどを鑑み、前回発表の連結業績予想数値を上方修正いたしました。

平成21年11月9日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,020,000	△18,000	△23,000	△20,000	△11.80
今回修正予想 (B)	1,060,000	△5,000	△7,000	△5,000	△2.95
増減額 (B - A)	40,000	13,000	16,000	15,000	—
増減率 (%)	3.9	—	—	—	—
前期実績	1,424,708	21,651	15,236	△26,858	△15.85

※当連結会計年度の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、世界経済の情勢や市場の動向、為替相場の変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績はこれら見通しと大きく異なる場合がありますので、この当連結会計年度の見通しに全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えるようお願いいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③ 経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	153,120	111,245
受取手形及び売掛金	153,848	132,781
商品及び製品	80,935	77,425
仕掛品	9,363	9,371
原材料及び貯蔵品	32,266	33,029
繰延税金資産	9,215	9,492
その他	21,096	27,863
貸倒引当金	△1,371	△1,570
流動資産合計	458,475	399,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	111,295	102,372
機械装置及び運搬具（純額）	88,779	92,475
土地	269,054	269,289
リース資産（純額）	6,181	3,777
建設仮勘定	14,664	31,811
その他（純額）	9,721	12,681
有形固定資産合計	499,696	512,408
無形固定資産		
その他	8,130	8,970
無形固定資産合計	8,130	8,970
投資その他の資産		
投資有価証券	81,160	81,732
長期貸付金	4,070	4,107
繰延税金資産	8,487	7,734
その他	23,397	21,834
貸倒引当金	△9,682	△9,640
投資その他の資産合計	107,434	105,769
固定資産合計	615,261	627,148
資産合計	1,073,736	1,026,786

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	209,582	161,516
短期借入金	77,159	84,287
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
リース債務	1,726	1,351
未払法人税等	3,686	3,187
未払費用	28,109	32,472
賞与引当金	6,110	10,835
製品保証引当金	2,660	3,565
預り金	4,804	3,674
その他	17,243	26,942
流動負債合計	381,083	337,833
固定負債		
社債	23,000	43,000
長期借入金	216,049	184,521
リース債務	4,881	2,704
繰延税金負債	4,301	4,366
再評価に係る繰延税金負債	55,818	55,818
退職給付引当金	60,434	57,702
長期預り金	1,284	1,249
負ののれん	343	379
その他	6,569	7,438
固定負債合計	372,683	357,179
負債合計	753,766	695,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	128,711	145,407
自己株式	△593	△570
株主資本合計	219,190	235,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,321	1,340
繰延ヘッジ損益	△41	△45
土地再評価差額金	73,340	73,195
為替換算調整勘定	△28,374	△29,762
評価・換算差額等合計	47,246	44,727
少数株主持分	53,533	51,137
純資産合計	319,970	331,773
負債純資産合計	1,073,736	1,026,786

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,200,107	727,886
売上原価	1,061,392	654,661
売上総利益	138,715	73,224
販売費及び一般管理費	101,147	78,892
営業利益又は営業損失(△)	37,567	△5,667
営業外収益		
受取利息	3,036	812
受取配当金	812	312
負ののれん償却額	237	67
持分法による投資利益	7,781	1,432
その他	2,217	2,874
営業外収益合計	14,085	5,500
営業外費用		
支払利息	5,141	4,861
為替差損	3,846	—
訴訟和解金	3,219	776
その他	3,088	1,858
営業外費用合計	15,296	7,496
経常利益又は経常損失(△)	36,357	△7,663
特別利益		
固定資産売却益	—	235
関係会社出資金売却益	176	—
その他	368	166
特別利益合計	544	401
特別損失		
固定資産処分損	981	533
減損損失	—	770
貸倒引当金繰入額	1,124	—
たな卸資産評価損	712	—
その他	1,627	520
特別損失合計	4,444	1,824
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,457	△9,087
法人税等	8,879	4,789
少数株主利益	5,216	2,673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,361	△16,550

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,457	△9,087
減価償却費	29,648	29,838
負ののれん償却額	△237	△67
持分法による投資損益(△は益)	△7,781	△1,432
退職給付引当金の増減額(△は減少)	814	2,739
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△288	△1,084
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,268	△4,725
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,201	△148
受取利息及び受取配当金	△3,849	△1,125
支払利息	5,141	4,861
固定資産売却損益(△は益)	—	△235
固定資産処分損益(△は益)	981	533
減損損失	—	770
その他の特別損益(△は益)	1,020	201
売上債権の増減額(△は増加)	60,885	△20,426
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,122	884
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,572	2,189
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,495	46,720
未払費用の増減額(△は減少)	△15,444	△5,346
預り金の増減額(△は減少)	2,924	1,123
その他の負債の増減額(△は減少)	2,714	2,416
その他	△72	96
小計	16,656	48,697
利息及び配当金の受取額	8,009	4,949
利息の支払額	△4,224	△4,353
法人税等の支払額	△16,407	△5,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,034	43,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,473	△29
投資有価証券の売却による収入	19	4
固定資産の取得による支出	△45,215	△29,537
固定資産の売却による収入	692	2,621
長期貸付けによる支出	△1,024	△134
長期貸付金の回収による収入	90	64
短期貸付金の増減額(△は増加)	49	△133
定期預金の増減額(△は増加)	429	△8
関係会社出資金の払込による支出	—	△1,233
その他	△1,625	△191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,056	△28,576

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,419	△15,113
長期借入れによる収入	49,413	76,509
長期借入金の返済による支出	△25,573	△37,062
社債の償還による支出	△60	—
リース債務の返済による支出	—	△1,130
自己株式の取得による支出	△97	△7
配当金の支払額	△13,108	△22
少数株主への配当金の支払額	△3,231	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,763	22,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,432	140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,691	38,075
現金及び現金同等物の期首残高	149,721	116,198
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	901	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,931	154,274

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、自動車および部品並びに産業用エンジンの製造、販売（自動車事業）を主な事業としており、全セグメントの売上高の合計および営業利益（又は損失）の合計額に占める自動車事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	766,962	66,924	307,314	58,906	1,200,107	—	1,200,107
セグメント間の内部売上高	101,081	4,604	39,238	2,716	147,640	△147,640	—
計	868,043	71,528	346,553	61,622	1,347,748	△147,640	1,200,107
営業利益	14,470	2,634	19,050	1,841	37,996	△428	37,567

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	457,906	39,787	195,833	34,359	727,886	—	727,886
セグメント間の内部売上高	71,458	1,646	16,135	982	90,222	△90,222	—
計	529,364	41,433	211,968	35,341	818,108	△90,222	727,886
営業利益又は営業損失 (△)	△20,065	1,567	11,584	130	△6,783	1,115	△5,667

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 … 米国

(2) アジア … シンガポール、中国、フィリピン、タイ、インドネシア

(3) その他の地域 … オーストラリア、南アフリカ、ドイツ

3. 前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間における配賦不能営業費用はありません。

4. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(重要な資産の評価基準及び評価方法の変更)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更致しました。

この結果、従来の方法に比べ、「日本」の営業利益に与える影響は軽微です。

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	68,178	323,437	384,533	776,148
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	1,200,107
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	5.7	27.0	32.0	64.7

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	41,595	230,700	158,494	430,790
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	727,886
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	5.7	31.7	21.8	59.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 … 米国

(2) アジア … 中国、タイ、インドネシア、フィリピン

(3) その他の地域 … サウジアラビア、ポーランド、エクアドル、南アフリカ、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

地域別販売実績

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間の販売実績は、次のとおりです。

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		増減	
		台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)
大型・中型車計	国内	16,593	133,179	10,530	93,340	△6,063	△39,838
	海外	25,695	114,367	14,986	64,479	△10,709	△49,888
		42,288	247,546	25,516	157,819	△16,772	△89,727
小型車他計	国内	27,964	85,473	18,536	59,497	△9,428	△25,976
	海外	276,319	405,905	149,547	217,274	△126,772	△188,631
		304,283	491,379	168,083	276,772	△136,200	△214,607
車両計	国内	44,557	218,653	29,066	152,838	△15,491	△65,814
	海外	302,014	520,273	164,533	281,753	△137,481	△238,519
		346,571	738,926	193,599	434,591	△152,972	△304,334
海外生産用部品	海外	—	63,964	—	31,328	—	△32,636
		—	63,964	—	31,328	—	△32,636
エンジン・コンポーネント	国内	—	38,126	—	16,434	—	△21,691
	海外	—	122,190	—	67,583	—	△54,607
		—	160,316	—	84,017	—	△76,298
その他	国内	—	167,180	—	127,822	—	△39,357
	海外	—	69,720	—	50,125	—	△19,595
		—	236,900	—	177,948	—	△58,952
売上高合計	国内	—	423,959	—	297,095	—	△126,863
	海外	—	776,148	—	430,790	—	△345,358
		—	1,200,107	—	727,886	—	△472,221

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。